

住民登録

11月1日現在

前月比	
人口	77,154 (-193)
男	37,000
女	40,154
世帯数	20,183 (-9)

編集と発行 — 大館市役所

(電話) 2-1212

発行年月日 — 昭和47年12月1日

発行日 — 毎月 1 日

広報紙は、行政協力員を通じて全世帯に配布しています。届かなかつたり、配布が遅いときは、総務課庶務係へご連絡ください

昭和43年 3月1日第3種郵便物認可 (1部5円)

慣れた火に新たな注意

今年も火災シーズンがやってきました。今年の火災発生状況を見ると、11月末現在で、22件の火災が発生しています。しかし昨年この時期に比べると18件の減となっており、この火災件数の減少は、火に対する市民の注意力が高まってきているものと市の消防署ではいっています。

しかし、これから冬にかけ、一番恐ろしいのは油やガスによる火災です。石油ストーブの取り扱い、煙突の取りつけなどには十分気をくばり、この冬は、火災を出さぬようまた、火災時の人身事故防止など、家族で話し合いをもって欲しいものです。



〈火災予防組合〉

152町内で連合会を結成!

～新会長に米沢潤次郎氏～

警火思想および火災予防知識の普及をはかろうと、昨年全市の町内、部落会に火災予防組合の結成を呼びかけていたところ、198町内のうち76.7%にあたる152町内に火災予防組合が結成されました。しかし、未結成の46町内については、消防署でさらに話し合いを深め、早い時期に結成していただくよう指導を強め、できるだけ全町内に火災予防組合を結成させたいという考えをもっています。

ところで、全町内の結成とはまだ行っていないものの、到来した火災シーズンに備えるため、さる11月18日、火災予防組合の連合会が結成されました。

連合会は、各火災予防組合長で組織されその目的として、各地域住民の火災予防思想の普及徹底をその主眼としており、この連合会の結成で、市民の防火思想が深く浸透するものと、今後の会活動に期待が寄せられているところです。

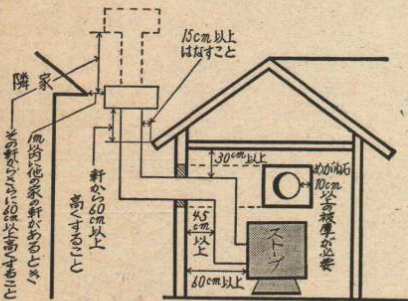
市制施行後、4度の大火にみまわれた本市に火災予防組合の連合会ができたことは自主活動による火災の絶滅と市民の火災に対する再認識を促す意味からいって、今度の結成は非常に意義深いものです。

連合会役員

会長	米沢潤次郎	理事	戸田悦弘
副会長	小松栄治		阿部勇
	沢口勤七		柳谷仁郎
	消防長		虹川誠司
常任理事	安部勝雄	監事	渡部憲吉
	消防署長		
理事	渡部正一		渡辺源四郎
	伊藤良助		



ストーブの取り付けは
煙突 規定どおりに……



○煙突は規定どおり取り付け、貫通部にはメガネ石などの不燃性の物を使用すること。

○煙突は定期的掃除をすること。

○石油ストーブの火を消さずに給油したり、移動させたりしないこと。

地域別火災発生状況 (5年間)

地域	年	42	43	44	45	46	S47.11.現在
大館市(旧市内)		41	16	24	22	15	7
釈迦内		12	6	7	3	7	6
長木		3	6	4	7	4	2
上川沿		1	3	1	2	0	2
下川沿		2	5	4	1	2	1
二井田		4	0	3	2	2	0
真中		1	1	2	3	2	0
十二所		5	3	9	7	4	1
花矢		0	6	6	14	10	2
計		69	46	60	61	46	21

消防サイレン (救急車はピーポー・ピーポー)

近火信号 ● 3秒 2秒休 ● 3秒 2秒休 ● 3秒 2秒休 ● 3秒 2秒休 (約10回)

火災警報発令信号 ● 30秒 6秒休 ● 30秒 6秒休 ● 30秒 6秒休 (5回)

訓練召集信号 ● 15秒 6秒休 ● 15秒 6秒休 ● 15秒 6秒休 ● 15秒 6秒休 (5回)